

2018年9月25日
 2019年7月12日更新
 2019年7月29日更新
2019年10月17日更新

2021年度入学者選抜の実施について（予告）

山口県立大学

2021年度山口県立大学入学者選抜について、2018年9月25日に入学者選抜方法等の予告公表を行いました
 が、このたび配点等に関する内容を決定しましたので、以下のとおり予告公表します。

本予告の追加、変更については、随時本学ホームページにて通知します。

以下において、下線部（波線）は2019年7月29日予告公表から追加した部分を示します。

1 基本方針

山口県立大学が定めた「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」に基づき、「学力の3要素」である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価する入学者選抜を行う。

2 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 国際文化学部 国際文化学科のアドミッション・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、国内外の多様な文化や社会について学ぶための基礎的な知識や理解力と語学力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

国内外における社会的・文化的多様性について自分の意見をまとめ、論理的に分かりやすく伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

異なる文化や多様な考えを持つ人々と交流し、地域の国際化に積極的に挑戦しようとする意欲がある。

② 入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別	一般選抜						学校推薦型選抜									
	前期日程			後期日程			県内高校枠				地域貢献人材発掘枠					
	大学入学 共通テスト (*1)	小論文	面接	大学入学 共通テスト (*1)	小論文	面接	小論文	面接	調査書	英語4技能	小論文	面接	調査書	活動報告書	英語4技能	
選 抜 方 法																
素 点	700	200	100	700	200		100	100	50	50	200	100	50	50	100	
評 価 の 比 重 (*2)	70	20	10	78	22		33	33	17	17	40	20	10	10	20	
評価の観点	《知識・技能》	○	○		○			○		○	○	○		○		○
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》			○		○			○	○			○	○	○	

(*1) 詳細は、5ページに記載。

(*2) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合（%）であり、小数点以下を四捨五入した。

(2) 国際文化学部 文化創造学科のアドミッション・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、地域文化の創造と発信について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

ことばや絵・デザインを用いた表現により、日本文化や地域文化の価値について自分の意見を伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

異なる文化や多様な考えを持つ人々と交流し、地域文化の創造に貢献しようとする意欲がある。

② 入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別	一般選抜					学校推薦型選抜							
	前期日程			後期日程		県内高校枠			地域貢献人材発掘枠				
選 抜 方 法	大学入学 共通テスト等 (*1)	小論文	面 接	大学入学 共通テスト等 (*1)	面 接	小論文	面 接	調査書	小論文	面 接	調査書	活動報告書	
素 点	700	150	50	700	200	200	100	50	200	100	20	40	
評 価 の 比 重 (*2)	78	17	6	78	22	57	29	14	56	28	6	11	
評価の観点	《知識・技能》	○	○	○		○		○	○		○		
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》			○	○		○	○		○	○	○	

(*1) 詳細は、6 ページに記載。

(*2) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合 (%)。小数点以下を四捨五入しており、合計が 100 にならない場合がある。

(3) 社会福祉学部 社会福祉学科のアドミッション・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、社会福祉の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

誰もが幸せに暮らせる社会の実現について他者とともに語り、自分の意見をまとめて伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

人や社会に関心があり、他者を理解し共感しながら福祉社会の実現のために貢献しようとする意欲がある。

② 入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別	一般選抜				学校推薦型選抜					
	前期日程		後期日程		県内高校枠		地域貢献人材発掘枠			
選 抜 方 法	大学入学 共通テスト等 (*1)	面 接	大学入学 共通テスト等 (*1)	面 接	面 接	調査書	面 接	調査書	活動報告書	
素 点	700	300	600	500	200	50	200	50	50	
評 価 の 比 重 (*2)	70	30	55	45	80	20	67	17	17	
評価の観点	《知識・技能》	○	○	○	○	○	○	○	○	
	《思考力・判断力・表現力》	○	○	○	○	○	○	○	○	
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》		○	○	○	○	○	○	○	

(*1) 詳細は、7 ページに記載。

(*2) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合 (%)。小数点以下を四捨五入しており、合計が 100 にならない場合がある。

(4) 看護栄養学部 看護学科のアドミッション・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、看護の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

人をとりまく様々な現象にみずから疑問を持ち、事実をもとに自分の意見をまとめて伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

人や看護に関心があり、責任感や協調性を持って保健医療福祉のために貢献しようとする意欲がある。

② 入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別	一般選抜					学校推薦型選抜							
	前期日程		後期日程			県内高校枠				地域貢献人材発掘枠			
選 抜 方 法	大学入学 共通テスト (*1)	面 接	大学入学 共通テスト (*1)	小論文	面 接	小論文	面 接	調査書	英語4技能	小論文	面 接	活動報告書	英語4技能
素 点	700	200	500	200	200	150	200	50	100	150	200	50	100
評 価 の 比 重 (*2)	78	22	56	22	22	30	40	10	20	30	40	10	20
評価の観点	《知識・技能》		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	《思考力・判断力・表現力》		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》			○		○		○	○			○	○

(*1) 詳細は、8 ページに記載。

(*2) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合 (%) であり、小数点以下を四捨五入した。

(5) 看護栄養学部 栄養学科のアドミッション・ポリシー

① 求める学生像

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を通して、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定める学修の成果をあげるために必要な、次に掲げる学力を備えた人。

《知識・技能》

高等学校の教育課程を幅広く修得し、栄養管理の理論や実践について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

《思考力・判断力・表現力》

社会における様々な課題について多面的に考察し、自分の意見を論理的に分かりやすく伝えることができる。

《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

食と健康に関心があり、責任感や協調性を持って人々の健康福祉のために貢献しようとする意欲がある。

② 入学者に予め身につけておくことを求める学力と入学者選抜方法の対照表

入 試 種 別	一般選抜				学校推薦型選抜							
	前期日程		後期日程		県内高校枠				地域貢献人材発掘枠			
選 抜 方 法	大学入学 共通テスト (*1)	面 接	大学入学 共通テスト (*1)	面 接	面 接	調査書	英語4技能	面 接	調査書	活動報告書	英語4技能	
素 点	700	100	700	300	200	100	50	200	50	50	50	
評 価 の 比 重 (*2)	88	13	70	30	57	29	14	57	14	14	14	
評価の観点	《知識・技能》		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	《思考力・判断力・表現力》		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》			○		○		○		○	○	○

(*1) 詳細は、9 ページに記載。

(*2) 各入試種別の合計点に対する選抜方法ごとの素点の割合 (%)。小数点以下を四捨五入しており、合計が 100 にならない場合がある。

3 入試区分・種別、募集人員

- 入試区分は、「一般選抜」、「学校推薦型選抜」、「外国人留学生選抜」とする。
- 学校推薦型選抜は、「県内高校枠」及び「地域貢献人材発掘枠」とする。「県内高校枠」と「地域貢献人材発掘枠」との併願は認めない。
- 県内高校枠は、山口県内に所在地のある高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を受験年度の3月に卒業（修了）見込みの者を対象とする。ただし、社会福祉学部社会福祉学科に限り、前年度の3月に特別支援学校高等部を修了した者も対象とする。
- 地域貢献人材発掘枠は、全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を受験年度の3月に卒業（修了）見込みの者を対象とする。ただし、社会福祉学部社会福祉学科に限り、前年度の3月に特別支援学校高等部を修了した者も対象とする。将来、地域の活力創出や健康づくりに貢献できるリーダーとして、活躍が期待される人材の発掘を目的とする。そのために、学校の内外で意欲的に取り組んだ活動等の過程、成果及び展望を積極的に評価する。
- 各入試種別の募集人員は以下のとおりとする。

学部	学科	入学定員	募集人員				
			一般選抜		学校推薦型選抜		外国人留学生選抜
			前期日程	後期日程	県内高校枠	地域貢献人材発掘枠	
国際文化	国際文化	62	27	6	18	11	若干名
	文化創造	52	23	5	16	8	若干名
社会福祉	社会福祉	103	46	8	29	20	若干名
看護栄養	看護	55	23	5	22	5	若干名
	栄養	42	20	2	12	8	
合計		314	139	26	97	52	若干名

4 入学者選抜方法等

【一般選抜】

全学科共通事項

- 各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
- 大学入学共通テストは、従来のマーク式問題に加え、国語及び数学の記述式問題を評価の対象とする。
- 大学入試センターが定めた期間において、「大学入試英語成績提供システム」に参加する資格・検定試験（以下、「英語4技能試験」という。）を受検していることを出願の要件とする。
- 大学入学共通テストの外国語「英語」（リスニングを含む。）に加え、英語4技能試験の成績を評価の対象とする。
- 調査書の記載内容は、面接の参考として利用する。

学科別事項

(1) 国際文化学部 国際文化学科

《前期日程》

試験区分	教科・科目等			配点	
大学入学 共通テスト [3教科3科目]	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
	地理歴史 ・公民	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	選択 1 科目 (*1)	100	
	数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」「数学 II・数学 B」「簿記・会計」 「情報関係基礎」			
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」 「地学」			
	外国語	「英語」	必須	350 (*3)	
英語 4 技能試験				必須	
個別学力検査	小論文			200	300
	面接			100	
評価基準	<p>【小論文】 文章の表現力とともに、国内外における社会的・文化的諸問題に関する基礎的知識・理解力・思考力・判断力を点数化して評価する。</p> <p>【面接】 集団面接を行い、国内外における社会的・文化的諸課題への関心度及びその原因や背景を追求しようとする意欲・態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力を点数化して評価する。</p>				
合否判定基準	<p>大学入学共通テストの得点、英語 4 技能試験の得点及び個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の小論文、大学入学共通テストの外国語「英語」と英語 4 技能試験との合計の順に得点が高い者を上位とする。</p>				

《後期日程》

試験区分	教科・科目等			配点	
大学入学 共通テスト [3教科3科目]	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
	地理歴史 ・公民	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	選択 1 科目 (*1)	100	
	数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」「数学 II・数学 B」「簿記・会計」 「情報関係基礎」			
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」 「地学」			
	外国語	「英語」	必須	350 (*3)	
英語 4 技能試験				必須	
個別学力検査	面接			200	200
評価基準	<p>【面接】 集団面接を行い、国内外における社会的・文化的諸問題への関心度とその原因や背景について追求しようとする意欲や態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力・表現力を総合的に評価する。</p>				
合否判定基準	<p>大学入学共通テストの得点、英語 4 技能試験の得点及び個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接、大学入学共通テストの外国語「英語」と英語 4 技能試験との合計の順に得点が高い者を上位とする。</p>				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、最も得点の高い科目の得点を採用する。ただし、次の①から③のとおりとする。

①地理歴史・公民は 1 教科とみなす。

②理科の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」については、2 科目で 1 科目とみなす。

③地理歴史・公民から 2 科目又は理科の「物理」「化学」「生物」「地学」から 2 科目受験している場合、得点にかかわらず、第 1 解答科目の得点を、その教科の得点とする。

(*2) 大学入学共通テストのマーク式問題 (200 点) に記述式問題 (50 点) を加えたものを得点とする。

記述式問題は、全体の段階表示に応じて、以下のとおり点数化する。

段階表示	A	B	C	D	E
得点	50	40	30	20	0

(*3) 次の①及び②を合計したものを得点とする。

①大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング (100 点) とリスニング (100 点) を合計し、28/20 を乗じたもの (280 点)。ただし、受験上の配慮により、リスニングを免除された者については、リーディング (100 点) の素点に 14/5 を乗じたものとする。

②英語 4 技能試験 (70 点)。

英語 4 技能試験は、大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合 CEF R (外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠) のレベルに応じて、以下のとおり点数化する。

CEF R	C 2	C 1	B 2	B 1	A 2	A 1
得点	70	60	50	35	10	

(2) 国際文化学部 文化創造学科

《前期日程》

試験区分	教科・科目等			配点	
大学入学 共通テスト [4教科4科目 又は3教科4科 目]	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
	地理歴史 ・公民	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	選択2科目 (*1)	200	
	数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」「数学 II・数学 B」「簿記・会計」 「情報関係基礎」			
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」 「地学」			
	外国語	「英語」	必須	250 (*3)	
英語4技能試験				必須	
個別学力検査	小論文			150	200
	面接			50	
評価基準	<p>【小論文】 日本文化や地域文化の価値について自分の考えをまとめる上での読解力、構成力、論理的思考力、発想力及び表現力を点数化して評価する。</p> <p>【面接】 集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や表現力、思考力を点数化して評価する。</p>				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点、英語4技能試験の得点及び個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接、個別学力検査の小論文の順に得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

試験区分	教科・科目等			配点	
大学入学 共通テスト [4教科4科目 又は3教科4科 目]	国語	「国語」	必須	250 (*2)	700
	地理歴史 ・公民	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	選択2科目 (*1)	200	
	数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」「数学 II・数学 B」「簿記・会計」 「情報関係基礎」			
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」 「地学」			
	外国語	「英語」	必須	250 (*3)	
英語4技能試験				必須	
個別学力検査	面接			200	200
評価基準	<p>【面接】 個人面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や表現力、思考力を点数化して評価する。 ※個人面接には、当日与えられる課題（例えば、絵や文字などを使って自由に表現するもの）が含まれる。</p>				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点、英語4技能試験の得点及び個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接、大学入学共通テストの国語の順に得点が高い者を上位とする。				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、得点の高い2科目の得点を採用する。ただし、次の①から③のとおりとする。

①地理歴史・公民は1教科とみなす。

②理科の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」については、2科目で1科目とみなす。

③地理歴史・公民から2科目又は理科の「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点を、その教科の得点とする。ただし、地理歴史・公民、数学及び理科の3教科のうち、地理歴史・公民から2科目のみ又は理科から2科目のみを受験し他の2教科を受験していない場合は、第1解答科目、第2解答科目共に採用する。

(*2) 大学入学共通テストのマーク式問題（200点）に記述式問題（50点）を加えたものを得点とする。

記述式問題は、全体の段階表示に応じて、以下のとおり点数化する。

段階表示	A	B	C	D	E
得点	50	40	30	20	0

(*3) 次の①及び②を合計したものを得点とする。

①大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング（100点）とリスニング（100点）を合計したもの（200点）。ただし、受験上の配慮により、リスニングを免除された者については、リーディング（100点）の素点に2を乗じたものとする。

②英語4技能試験（50点）。

英語4技能試験は、大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合CEFR（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）のレベルに応じて、以下のとおり点数化する。

CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1
得点		50		40	30	10

(3) 社会福祉学部 社会福祉学科

《前期日程》

試験区分	教科・科目等			配点	
大学入学 共通テスト [3教科3科目]	国語	「国語」	必須	300 (*2)	700
	地理歴史・公民	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	選択 1 科目 (*1)	200	
	数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」「数学 II・数学 B」「簿記・会計」「情報関係基礎」			
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			
	外国語	「英語」	必須	200	
英語 4 技能試験				必須	200 (*3)
個別学力検査	面接(*4)			300	300
評価基準	【面接】 個人面接を行い、志望理由、社会福祉への関心、入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点、英語 4 技能試験の得点及び個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

試験区分	教科・科目等			配点	
大学入学 共通テスト [3教科3科目]	国語	「国語」	必須	200 (*2)	600
	地理歴史・公民	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	選択 1 科目 (*1)	200	
	数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」「数学 II・数学 B」「簿記・会計」「情報関係基礎」			
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」			
	外国語	「英語」	必須	200	
英語 4 技能試験				必須	200 (*3)
個別学力検査	面接(*4)			500	500
評価基準	【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語ることができる能力を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由、社会福祉への関心、入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点、英語 4 技能試験の得点及び個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、最も得点の高い科目の得点を採用する。ただし、次の①から③のとおりとする。

①地理歴史・公民は 1 教科とみなす。

②理科の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」については、2 科目で 1 科目とみなす。

③地理歴史・公民から 2 科目又は理科の「物理」「化学」「生物」「地学」から 2 科目受験している場合、得点にかかわらず、第 1 解答科目の得点を、その教科の得点とする。

(*2) 前期日程は、大学入学共通テストのマーク式問題 (200 点) と、記述式問題 (50 点) に 2 を乗じたものの合計を得点とする。

後期日程は、大学入学共通テストのマーク式問題 (200 点) と記述式問題 (50 点) を合計し、4/5 を乗じたものを得点とする。

記述式問題は、全体の段階表示に応じて、以下のとおり点数化する。

段階表示	A	B	C	D	E
得点	50	40	30	20	0

(*3) 大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング (100 点) 及びリスニング (100 点) と英語 4 技能試験 (50 点) を合計し、4/5 を乗じたものを得点とする。ただし、受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング (100 点) の素点に 3/2 を乗じたもの (150 点) と英語 4 技能試験 (50 点) とを合計したものを得点とする。

英語 4 技能試験は、大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合 CEF R (外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠) のレベルに応じて、以下のとおり点数化する。

CEFR	C 2	C 1	B 2	B 1	A 2	A 1
得点		50		40	30	10

(*4) 志望理由書の提出を必須とし、面接の参考として利用する。

(4) 看護栄養学部 看護学科

《前期日程》

試験区分	教科・科目等			配点	
大学入学 共通テスト [5教科5科目]	国語	「国語」	必須	200 (*2)	700
	地理歴史 ・公民	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	選択1科目 (*1)	100	
	数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	選択1科目 (*1)	100	
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	選択1科目 (*1)	100	
	外国語	「英語」	必須	200 (*3)	
英語4技能試験				必須	
個別学力検査	面接			200	200
評価基準	【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点、英語4技能試験の得点及び個別学力検査の得点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

試験区分	教科・科目等			配点	
大学入学 共通テスト [4教科4科目]	国語	「国語」	必須	100 (*2)	500
	数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	選択1科目 (*1)	100	
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」	選択1科目 (*1)	100	
	外国語	「英語」	必須	200 (*3)	
英語4技能試験				必須	
個別学力検査	小論文			200	400
	面接			200	
評価基準	【小論文】 看護の理論や実践を学ぶために必要な基礎的能力（理解力、読解力、論理的思考力、文章表現能力等）を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点、英語4技能試験の得点及び個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合には、個別学力検査の面接の得点が高い者を上位とする。				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、最も得点の高い科目の得点を採用する。ただし、次の①から③のとおりとする。

①地理歴史・公民は1教科とみなす。

②理科の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」については、2科目で1科目とみなす。

③地理歴史・公民から2科目又は理科の「物理」「化学」「生物」「地学」から2科目受験している場合、得点にかかわらず、第1解答科目の得点を、その教科の得点とする。

(*2) 前期日程は、大学入学共通テストのマーク式問題（200点）と記述式問題（50点）を合計し、4/5を乗じたものを得点とする。

後期日程は、大学入学共通テストのマーク式問題（200点）と記述式問題（50点）を合計し、2/5を乗じたものを得点とする。

記述式問題は、全体の段階表示に応じて、以下のとおり点数化する。

段階表示	A	B	C	D	E
得点	50	40	30	20	0

(*3) 大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング（100点）及びリスニング（100点）と英語4技能試験（50点）を合計し、4/5を乗じたものを得点とする。ただし、受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング（100点）の素点に3/2を乗じたもの（150点）と英語4技能試験（50点）とを合計したものを得点とする。

英語4技能試験は、大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合CEFR（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）のレベルに応じて、以下のとおり点数化する。

CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1
得点		50		40	30	10

(5) 看護栄養学部 栄養学科

《前期日程》

試験区分	教科・科目等			配点	
大学入学 共通テスト [5教科5科目]	国語	「国語」	必須	200 (*2)	700
	地理歴史 ・公民	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	選択 1 科目 (*1)	100	
	数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」「数学 II・数学 B」「簿記・会計」 「情報関係基礎」	選択 1 科目 (*1)	100	
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「物理」「化学」「生物」	選択 1 科目 (*1)	100	
	外国語	「英語」	必須	200 (*3)	
英語 4 技能試験				必須	
個別学力検査	面接			100	100
評価基準	【面接】 集団面接を行い、志望理由及び勉学への興味等について論理的に分かりやすく伝える力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点、英語 4 技能試験の得点及び個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、大学入学共通テストと英語 4 技能試験の合計の得点が高い者を上位とする。				

《後期日程》

試験区分	教科・科目等			配点	
大学入学 共通テスト [5教科5科目]	国語	「国語」	必須	200 (*2)	700
	地理歴史 ・公民	「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	選択 1 科目 (*1)	100	
	数学	「数学 I」「数学 I・数学 A」「数学 II」「数学 II・数学 B」「簿記・会計」 「情報関係基礎」	選択 1 科目 (*1)	100	
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「物理」「化学」「生物」	選択 1 科目 (*1)	100	
	外国語	「英語」	必須	200 (*3)	
英語 4 技能試験				必須	
個別学力検査	面接			300	300
評価基準	【面接】 集団面接を行い、志望理由及び健康科学への興味等について論理的に分かりやすく伝える力を点数化して評価する。				
合否判定基準	大学入学共通テストの得点、英語 4 技能試験の得点及び個別学力検査の得点の合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、大学入学共通テストと英語 4 技能試験の合計の得点が高い者を上位とする。				

(*1) 指定された教科・科目の範囲内で、必要とする教科・科目数を超えて受験している場合、最も得点の高い科目の得点を採用する。ただし、次の①から③のとおりとする。

①地理歴史・公民は 1 教科とみなす。

②理科の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」については、2 科目で 1 科目とみなす。

③地理歴史・公民から 2 科目又は理科の「物理」「化学」「生物」から 2 科目受験している場合、得点にかかわらず、第 1 解答科目の得点を、その教科の得点とする。

(*2) 大学入学共通テストのマーク式問題 (200 点) と記述式問題 (50 点) を合計し、4/5 を乗じたものを得点とする。

記述式問題は、全体の段階表示に応じて、以下のとおり点数化する。

段階表示	A	B	C	D	E
得点	50	40	30	20	0

(*3) 大学入学共通テストの外国語「英語」のリーディング (100 点) 及びリスニング (100 点) と英語 4 技能試験 (50 点) を合計し、4/5 を乗じたものを得点とする。ただし、受験上の配慮により、大学入学共通テストのリスニングを免除された者については、リーディング (100 点) の素点に 3/2 を乗じたもの (150 点) と英語 4 技能試験 (50 点) とを合計したものを得点とする。

英語 4 技能試験は、大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合 CEF R (外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠) のレベルに応じて、以下のとおり点数化する。

CEF R	C 2	C 1	B 2	B 1	A 2	A 1
得点	50		40		30	10

【学校推薦型選抜】

■ 県内高校枠

全学科共通事項

- 各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
- 調査書、推薦書及び志望理由書については、面接の参考として利用する。
- 1校あたりの推薦人数の制限はない。

学科別事項

(1) 国際文化学部 国際文化学科

出願要件	次の1～6の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2021年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者 4 大学入試センターが定めた期間において英語4技能試験を受検した者 5 国際文化学科に対し、適性を有する者 6 合格した場合は、必ず本学に入学する者															
	評価対象	配点														
試験科目	小論文	100														
	面接	100														
試験科目以外の評価の対象となる事項	調査書	50														
	英語4技能試験	50														
評価基準	<p>【小論文】 文章の表現力とともに、国内外における社会的・文化的諸問題に関する基礎的知識・理解力・思考力・判断力を点数化して評価する。</p> <p>【面接】 集団面接を行い、国内外における社会的・文化的諸課題への関心度及びその原因や背景を追求しようとする意欲や態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力を点数化して評価する。</p> <p>【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</p> <p>【英語4技能試験】 大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合CEFR（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）のレベルに応じて、以下のとおり点数化して評価する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>CEFR</td> <td>C2</td> <td>C1</td> <td>B2</td> <td>B1</td> <td>A2</td> <td>A1</td> </tr> <tr> <td>得点</td> <td>50</td> <td>45</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>10</td> </tr> </table>		CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1	得点	50	45	40	35	25	10
CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1										
得点	50	45	40	35	25	10										
合否判定基準	小論文及び面接の得点と調査書及び英語4技能試験の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。															

(2) 国際文化学部 文化創造学科

出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2021年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者 4 文化創造学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者	
	評価対象	配点
試験科目	小論文	200
	面接	100
試験科目以外の評価の対象となる事項	調査書	50
評価基準	<p>【小論文】 日本文化や地域文化の価値について自分の考えをまとめる上での読解力、構成員力、論理的思考力、発想力及び表現力を点数化して評価する。</p> <p>【面接】 集団面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や表現力、思考力を点数化して評価する。 ※集団面接には、当日与えられる課題（例えば、絵や文字などを使って自由に表現するもの）が含まれる。</p> <p>【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</p>	
合否判定基準	小論文及び面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。	

(3) 社会福祉学部 社会福祉学科

出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校、中等教育学校及び高等専門学校3年次を2021年3月に卒業（修了）見込みの者又は山口県内の特別支援学校高等部を2020年3月に修了若しくは2021年3月に修了見込みの者 2 志望動機が明確であり、社会福祉学科に対する適性を有する者 3 人物・性行等、所属又は出身学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 4 学業成績優秀の者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
評価対象		配点	
試験科目	面接	200	250
試験科目以外の評価の対象となる事項	調査書	50	
評価基準	<p>【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語ることができる能力を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由、社会福祉への関心、入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。</p> <p>【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</p>		
合否判定基準	面接の得点と調査書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(4) 看護栄養学部 看護学科

出願要件	次の1～6の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2021年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 学業成績優秀の者 4 大学入試センターが定めた期間において英語4技能試験を受検した者 5 看護学科に対し、適性を有する者 6 合格した場合は、必ず本学に入学する者																
評価対象		配点															
試験科目	小論文	150	500														
	面接	200															
試験科目以外の評価の対象となる事項	調査書	50															
	英語4技能試験	100															
評価基準	<p>【小論文】 看護の理論や実践を学ぶために必要な基礎的能力（理解力、読解力、論理的思考力、文章表現能力等）を点数化して評価する。</p> <p>【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。</p> <p>【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</p> <p>【英語4技能試験】 大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合CEFR（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）のレベルに応じて、以下のとおり点数化して評価する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>CEFR</td> <td>C2</td> <td>C1</td> <td>B2</td> <td>B1</td> <td>A2</td> <td>A1</td> </tr> <tr> <td>得点</td> <td colspan="2">100</td> <td colspan="2">80</td> <td colspan="2">60</td> </tr> </table>			CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1	得点	100		80		60	
CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1											
得点	100		80		60												
合否判定基準	小論文及び面接の得点と調査書及び英語4技能試験の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同数の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。																

(5) 看護栄養学部 栄養学科

出願要件	次の1～6の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2021年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.8以上の者 4 大学入試センターが定めた期間において英語4技能試験を受検した者 5 栄養学科に対し、適性を有する者 6 合格した場合は、必ず本学に入学する者																
評価対象		配点															
試験科目	面接	200	350														
試験科目以外の評価の対象となる事項	調査書	100															
	英語4技能試験	50															
評価基準	<p>【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、態度、社会性及び協調性に注目し、栄養学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由及び食と健康への興味・関心・動機等の質問に対する対応能力を通して、理解力、思考力、判断力、表現力及び積極性を点数化して評価する。</p> <p>【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</p> <p>【英語4技能試験】 大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合CEFR（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）のレベルに応じて、以下のとおり点数化して評価する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>CEFR</th> <th>C2</th> <th>C1</th> <th>B2</th> <th>B1</th> <th>A2</th> <th>A1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>得点</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td>40</td> <td>30</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1	得点		50		40	30	10
CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1											
得点		50		40	30	10											
合否判定基準	面接の得点と調査書及び英語4技能試験の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。																

その他

合格者には、高校での自己の学修の到達程度を把握し大学入学後の履修に役立ててもらうため、大学入学共通テストに出願し、各学科の指定する教科・科目を受験することを強く推奨する。なお、受験後には「自己採点結果」を提出すること。

ただし、大学入学共通テストの受験及び「自己採点結果」の提出は、上記の趣旨によるものであることから、その結果によって合格を取り消すことはない。

■ 地域貢献人材発掘枠

全学科共通事項

- 各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて評価する。
- 調査書、推薦書及び志望理由書については、面接の参考として利用する。
- 活動報告書については、試験科目以外の評価の対象とするとともに、面接の参考として利用する。
- 1校あたりの推薦人数の制限はない。

学科別事項

(1) 国際文化学部 国際文化学科

出願要件	次の1～6の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2021年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 以下のいずれかの条件を満たす者 ① 調査書の国語、外国語又は英語、地理歴史、公民の中で、「教科の学習成績の状況」が3.7以上の教科が2教科以上ある者 ② 日本以外の国や地域に、小学校入学年齢以降に6カ月以上継続滞在した者 4 大学入試センターが定めた期間において英語4技能試験を受検した者 5 国際文化学科に対し、適性を有する者 6 合格した場合は、必ず本学に入学する者															
評価対象		配点														
試験科目	小論文	200														
	面接	100														
試験科目以外の評価の対象となる事項	調査書	50														
	活動報告書(*1)	50														
	英語4技能試験	100														
評価基準	【小論文】 文章の表現力とともに、国内外における社会的・文化的諸問題に関する基礎的知識・理解力・思考力・判断力を点数化して評価する。 【面接】 個人面接を行い、国内外における社会的・文化的諸課題への関心度及び地域の国際化に貢献しようとする意欲や態度、異なる文化を持つ人々との交流に必要な思考力・判断力を点数化して評価する。 【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。 【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。 【英語4技能試験】 大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合CEFR（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）のレベルに応じて、以下のとおり点数化して評価する。 <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-top: 5px;"> <tr> <td>CEFR</td> <td>C2</td> <td>C1</td> <td>B2</td> <td>B1</td> <td>A2</td> <td>A1</td> </tr> <tr> <td>得点</td> <td>100</td> <td>90</td> <td>70</td> <td>50</td> <td>20</td> <td></td> </tr> </table>		CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1	得点	100	90	70	50	20	
CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1										
得点	100	90	70	50	20											
合否判定基準	小論文及び面接の得点と調査書、活動報告書及び英語4技能試験の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。															

(*1) 学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(2) 国際文化学部 文化創造学科

出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2021年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の国語、外国語又は英語、地理歴史、芸術(*1)の中で、「教科の学習成績の状況」が3.7以上の教科が2教科以上ある者 4 文化創造学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
	評価対象	配点	
試験科目	小論文	200	360
	面接	100	
試験科目以外の評価の対象となる事項	調査書	20	
	活動報告書(*2)	40	
評価基準	<p>【小論文】 日本文化や地域文化の価値について自分の考えをまとめる上での読解力、構成力、論理的思考力、発想力及び表現力を点数化して評価する。</p> <p>【面接】 個人面接を行い、異なる文化や多様な考えを持つ人々と共に地域文化を創造する上で求められる意欲や表現力、思考力を点数化して評価する。 ※個人面接には、当日与えられる課題（例えば、絵や文字などを使って自由に表現するもの）が含まれる。</p> <p>【調査書】 国語、外国語又は英語、地理歴史、芸術(*1)の中で、成績のよい2つの教科の「学習成績の状況」を点数化して評価する。</p> <p>【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。</p>		
合否判定基準	小論文及び面接の得点と調査書及び活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1)「芸術」が開設されていない場合は、「美術」又は「音楽」を採用する。

(*2)学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(3) 社会福祉学部 社会福祉学科

出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校及び高等専門学校3年次を2021年3月に卒業（修了）見込みの者又は特別支援学校高等部を2020年3月に修了若しくは2021年3月に修了見込みの者 2 志望動機が明確であり、社会福祉学科に対する適性を有する者 3 人物・性行等、所属又は出身学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 4 学業成績優秀の者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者		
	評価対象	配点	
試験科目	面接	200	300
試験科目以外の評価の対象となる事項	調査書	50	
	活動報告書(*1)	50	
評価基準	<p>【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力、議論全体を適切にすすめていく態度及び他者とともに語ることができる能力を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由、社会福祉への関心や入学後の学びや将来の展望を中心とした質問に対する対応能力・表現力から、社会福祉を学ぶ意欲、コミュニケーション能力及び論理的思考力を点数化して評価する。</p> <p>【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</p> <p>【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。</p>		
合否判定基準	面接の得点と調査書及び活動報告書の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とする。		

(*1)学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(4) 看護栄養学部 看護学科

出願要件	次の1～6の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2021年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 学業成績優秀の者 4 大学入試センターが定めた期間において英語4技能試験を受検した者 5 看護学科に対し、適性を有する者 6 合格した場合は、必ず本学に入学する者															
評価対象		配点														
試験科目	小論文	150														
	面接	200														
試験科目以外の評価の対象となる事項	活動報告書(*1)	50														
	英語4技能試験	100														
評価基準	<p>【小論文】 看護の理論や実践を学ぶために必要な基礎的能力（理解力、読解力、論理的思考力、文章表現能力等）を点数化して評価する。</p> <p>【面接】 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機等を中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。</p> <p>【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。</p> <p>【英語4技能試験】 大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合CEFR（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）のレベルに応じて、以下のとおり点数化して評価する。</p> <table border="1"> <tr> <td>CEFR</td> <td>C2</td> <td>C1</td> <td>B2</td> <td>B1</td> <td>A2</td> <td>A1</td> </tr> <tr> <td>得点</td> <td colspan="2">100</td> <td>80</td> <td>60</td> <td colspan="2">20</td> </tr> </table>		CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1	得点	100		80	60	20	
CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1										
得点	100		80	60	20											
合否判定基準	小論文及び面接の得点と活動報告書及び英語4技能試験の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合には、面接の得点が高い者を上位とする。															

(*1)学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等）を志願者本人が記載する。

(5) 看護栄養学部 栄養学科

出願要件	次の1～7の全てに該当する者 1 全国（山口県を含む）の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次を2021年3月に卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 物理、化学、生物のうち2科目を履修している者 4 調査書の理科の「教科の学習成績の状況」が4.0以上の者 5 大学入試センターが定めた期間において英語4技能試験を受検した者 6 栄養学科に対し、適性を有する者 7 合格した場合は、必ず本学に入学する者															
評価対象		配点														
試験科目	面接	200														
試験科目以外の評価の対象となる事項	調査書	50														
	活動報告書(*1)	50														
	英語4技能試験	50														
評価基準	<p>【面接】 集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、態度、社会性及び協調性に注目し、栄養学を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等を点数化して評価する。 個人面接では、志望理由及び食と健康への興味・関心・動機等の質問に対する対応能力を通して、理解力、思考力、判断力、表現力及び積極性を点数化して評価する。</p> <p>【調査書】 「全体の学習成績の状況」を点数化して評価する。</p> <p>【活動報告書】 主体的・協働的な学びの過程とその成果及びそれによって身につけることができた資質・能力を、入学後の学習にどのように活かすことができるかの展望を点数化して評価する。</p> <p>【英語4技能試験】 大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供された総合CEFR（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠）のレベルに応じて、以下のとおり点数化して評価する。</p> <table border="1"> <tr> <td>CEFR</td> <td>C2</td> <td>C1</td> <td>B2</td> <td>B1</td> <td>A2</td> <td>A1</td> </tr> <tr> <td>得点</td> <td colspan="2">50</td> <td>40</td> <td>30</td> <td colspan="2">10</td> </tr> </table>		CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1	得点	50		40	30	10	
CEFR	C2	C1	B2	B1	A2	A1										
得点	50		40	30	10											
合否判定基準	面接の得点と調査書、活動報告書及び英語4技能試験の評価点との合計で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。合計点が同点の場合には、面接の得点が高い者を上位とする。															

(*1)学校の内外で意欲的に取り組んだ活動（生徒会活動、部活動、ボランティア活動、専門高校の校長会や民間事業者等が実施する資格・検定等、その他

生徒が自ら関わってきた諸活動、各種大会・コンクール等、留学・海外経験等、特色ある教育課程を実施する学校における学習活動等)を志願者本人が記載する。

その他

合格者には、高校での自己の学修の到達度を把握し大学入学後の履修に役立ててもらうため、大学入学共通テストに出願し、各学科の指定する教科・科目を受験することを強く推奨する。なお、受験後には「自己採点結果」を提出すること。

ただし、大学入学共通テストの受験及び「自己採点結果」の提出は、上記の趣旨によるものであることから、その結果によって合格を取り消すことはない。